

# 手を握らずに親と子



令和6年6月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No. 34

## 地域で子どもを守る取組



登別市では、全ての小中学校で、地域とともにある学校づくりを進め、家庭と地域住民が学校と連携・協働して子どもたちを育てています。地域のみなさんによる登下校時の見守り活動は、子どもが安心して成長するために欠かせない取組であるほか、「おはよう」「おかえり」などの、地域の方とのなげないあいさつから、信頼関係が生まれ、地域のつながりが深まります。



そのほか、子どもたちが、不審者に遭遇した場合や、アラートが発令されたとき、看板がある家や店舗などにいつでも駆け込むことができる「こども110番スタティちゃんの家」に登録してくださっているのも地域の方々です。

## 親子でお世話になっている

いざというとき、ご近所さんに助けていただいたことがあるでしょうか。「子どもが鍵をなくして家に入れなくなったときに、お向かいの方が面倒をみてくれた。」「雪の日にお隣さんが雪かきを手伝ってくれた。」など、ピンチのときに頼りになるご近所さんの存在はありがたいものです。

また、不安や悩みを抱えているとき、愚痴を聞いてもらったり、相談したりすることができる隣人や、民生委員・児童委員の方に日々お世話になっている人もいます。

感謝の気持ちは、自分が助ける番になる時の意欲を高め、恩返しや別の人を助ける行為につながることでしょ





# 地域とのつながり

家族の暮らしが、地域の方々のおかげで成り立っていることに感謝し、学校や地域の行事に参加したり、協力したりすることは、子どもからお年寄りまでのつながりが深まり、子どもたちを守り育てることになります。

人口の減少は特に地方で加速しています。登別市においても人口の減少が進んでいます。どの自治体も、仕事があり、安心して結婚・出産・子育てができる魅力的なまちづくりに努力しています。登別市も、熱心な協議や具体的な取組を進めています。その中で、大切とされるキーワードが「つながり」です。人と人のつながりだけではなく、地域の環境や文化などとのつながりも注目されています。

## ほどよくつながる



いざというときに助け合っても、普段はプライベートも守られた状態が望ましいという人もいます。

つながりが無くて生きづらさを感じる事があれば、つながりが強すぎて息苦しさを感じることもあるでしょう。

つながり方にきまりはありません。学校に協力してボランティア活動をする、地域行事に参加する、お祭りや盆踊りに加えてクリーン作戦にも参加してみるなど、負担を感じない程度に、ほどよく関わっていくことが長続きの秘訣ではないでしょうか。

また、登別市内では、文化やスポーツなど、さまざまな行事が行われており、登別市公式ウェブサイトに掲載されています。地域とつながるきっかけとして、参考としてみるのもいいのではないのでしょうか。

### ～ 参 考 ～

令和6年度登別市内各種大会・行事一覧表【登別市公式ウェブサイトで検索】



※毎月発行される「広報のぼりべつ」においても各種行事などが掲載されますのでご覧ください。